



国道2号 福山地区・福山東地区
自転車走行空間整備事業



芦田川 父石・僧殿地区
改修事業



国道2号 福山道路

福山河川国道事務所 令和7年度 事業概要



芦田川 かわまち広場



国土交通省福山河川国道事務所

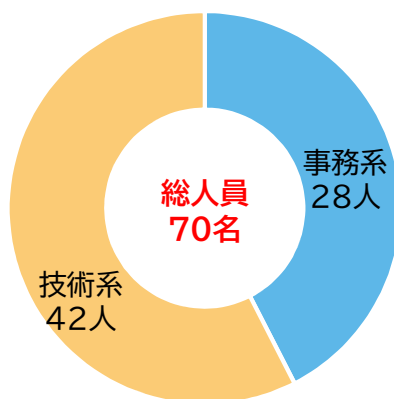
もくじ

◆ 福山河川国道事務所の概要	2
◆ 事業総括	3
◆ 河川関係事業	4
◆ 道路関係事業	10
◆ 連絡先と各部署の業務内容	22

福山河川国道事務所の概要

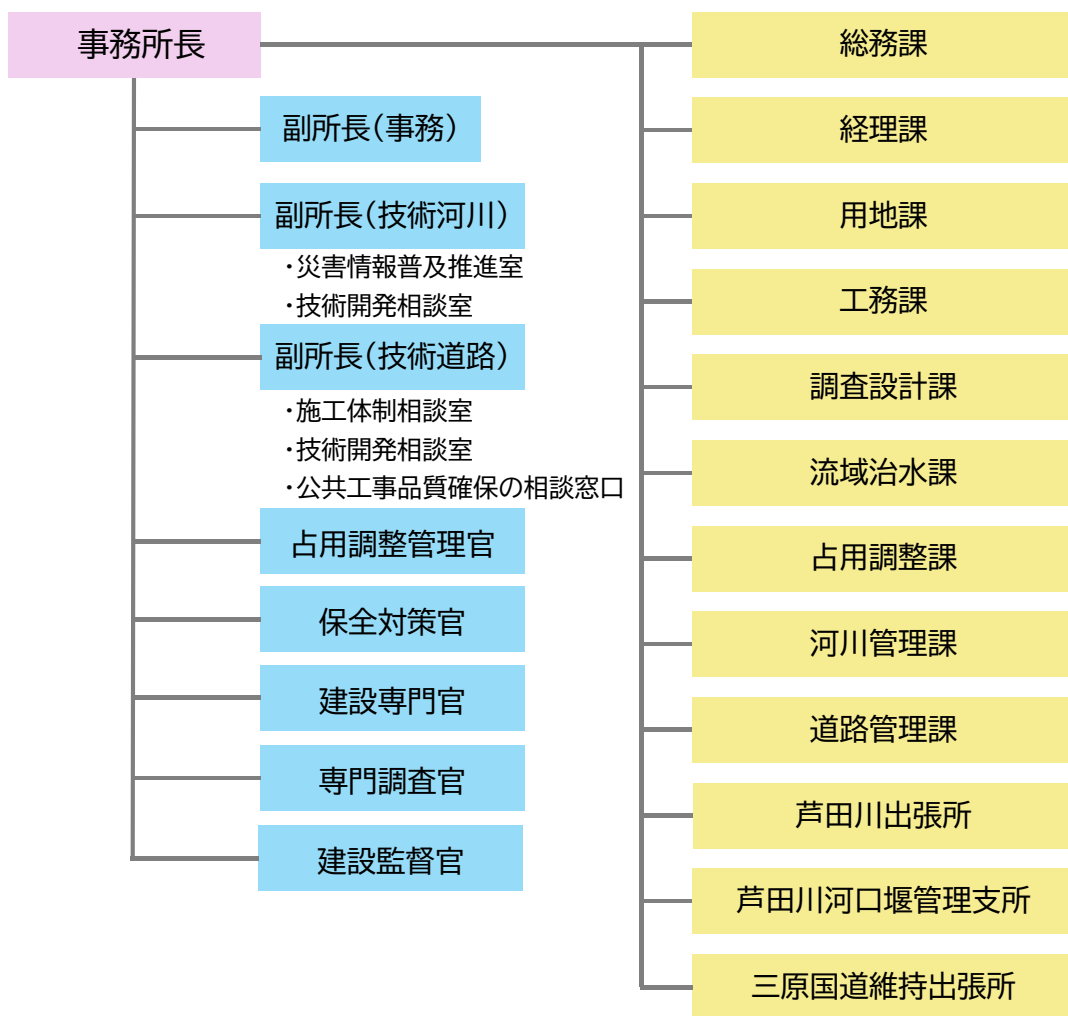
備後地域の「河川」と「国道」を担当する福山河川国道事務所では、^{あしだ}芦田川水系の治水及び利水環境の対策と、^{びんご}一般国道2号を主とした地域の渋滞緩和と交通安全、沿道環境の改善事業を進め、地域間の交流と連携の促進を図ります。

【事務所の人員構成】



令和7年4月1日現在

福山河川国道事務所(組織概要)



※9課・2出張所・1管理支所

事業総括



令和7年度の事業費は、事務所全体で7,318百万円です。

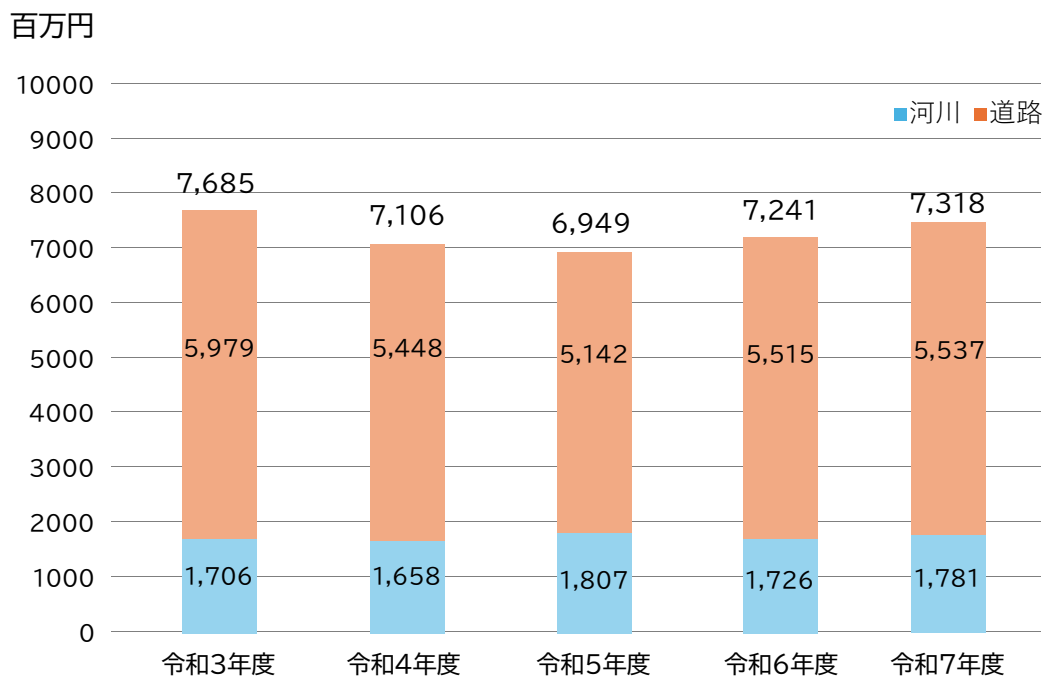
河川関係事業は^{あしだ}芦田川及び^{たかや}高屋川について、^{あしだ}芦田川水系河川整備計画に基づく河川改修や河川維持修繕等を行っています。

道路関係事業の改築関係は、^{ふくやま}福山道路の改良・橋梁上下部工事等、交通安全関係について、自転車走行空間の整備や交差点改良工事、管理関係については、一般国道2号の橋梁修繕や電線共同溝等を行っています。

(百万円)

	令和6年度【当初】	令和7年度【当初】	前年比
河川関係	1,726	1,781	1.03
道路関係	5,515	5,537	1.00
(改築)	2,245	2,257	1.01
(管理・交安)	3,270	3,280	1.00
事務所計	7,241	7,318	1.01

※令和7年度は、上記当初予算のほかに、令和6年度補正予算で措置された予算(河川 640百万円、道路 2,190百万円)とあわせて事業を実施。



河川関係事業

一級河川^{あしだ}芦田川では、平成20年12月に策定した^{あしだ}芦田川水系河川整備計画に基づき河川整備を進めてきました。しかし、平成30年7月豪雨時に、基準地点^{やまて}山手において観測史上最高の水位を記録するなど、河川整備計画目標流量を超過したことや近年の気候変動に伴う水災害の頻発化・激甚化を鑑み、令和2年12月に^{あしだ}芦田川水系河川整備計画(変更)を策定しました。この整備計画に基づき、目標流量(平成30年7月豪雨による洪水と同規模)を安全に流下させる河道整備をはじめ、河川管理・防災対策や地域と一体となった川づくりを推進します。

また、平成30年7月豪雨を踏まえ、河川内樹木の伐採や土砂撤去を行い、あわせて、^{あしだ}芦田川の美しく豊かな自然環境を保全するため、第Ⅱ期^{あしだ}芦田川水環境改善アクションプランに基づき、関係機関や流域の住民団体等と連携し、水環境の改善を促進します。



ちいし そうどの
父石・僧殿地区河川改修



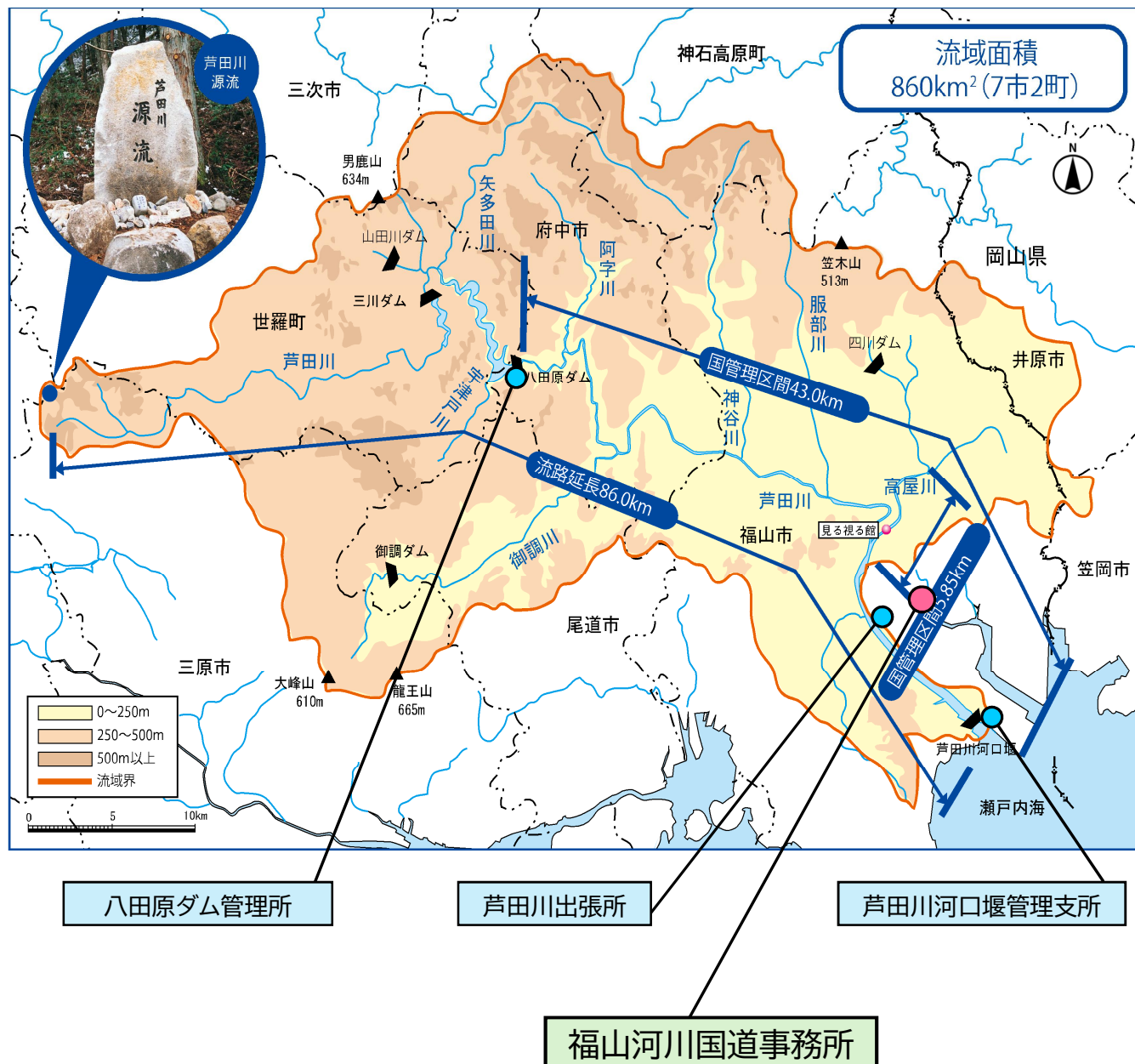
くさど みのみ
草戸・水呑地区河道掘削

主な事業箇所等

^{あしだ} 芦田川	^{ちいし そうどの} 父石・僧殿 地区河川改修	-----	6
^{あしだ} 芦田川	^{くさど みのみ} 草戸・水呑 地区河道掘削、浸透対策	-----	7
^{あしだ} 芦田川	環境整備・自然再生(事業推進)	-----	8
^{あしだ} 芦田川	維持修繕・応急対策・堰堤維持事業	-----	9

芦田川流域状況

福山河川国道事務所では芦田川本川43.0kmと支川高屋川5.85kmの区間を管理しています。芦田川は、広島^{あしだ}県三原市大和町蔵宗^{みはら だいわちやうくらむね}に発し、支川、派川を合わせ福山市箕島町^{ふくやま みのしまちやう}において瀬戸内海備後灘^{せとないかいびんごなだ}に注ぐ幹川流路延長86km、流域面積860km²の一級河川です。

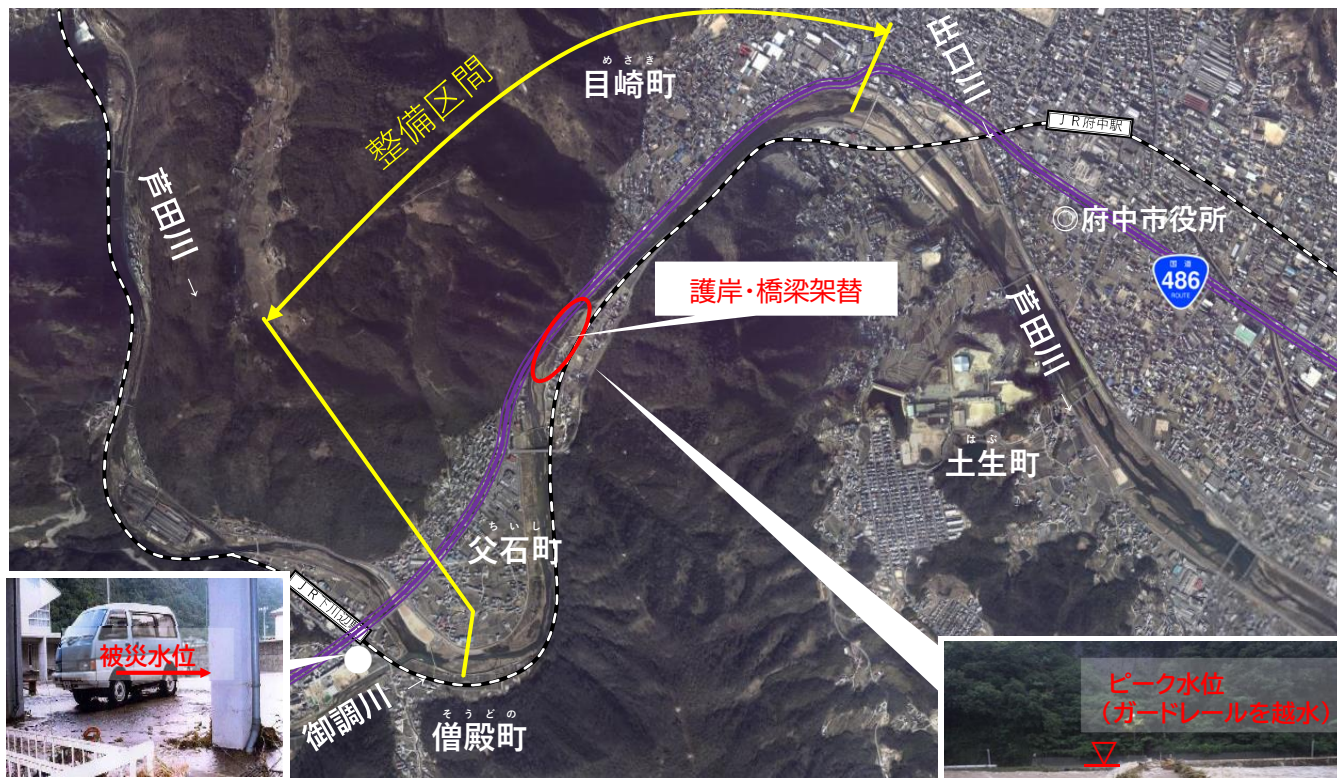


令和7年度 事業概要

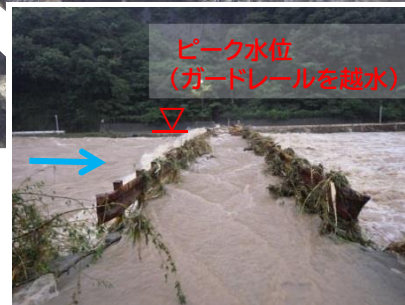
護岸整備及び前原橋の架替を推進します。

平成10年の台風10号や平成30年7月豪雨により、府中市市街地上流部で氾濫被害が発生した芦田川では、再度災害防止の観点から狭窄部である父石地区の河川改修を推進します。

今年度は引き続き護岸整備や前原橋の取付道路の施工を行います。



H10.10洪水 明郷学園(小・中)
(当時:府中第3中学校)前



H30.7洪水 前原橋橋面部越水



期待される整備効果

平成30年7月豪雨と同規模の洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

令和7年度 事業概要

河川整備を推進します。

洪水に対して被害を防止又は軽減できるよう、河川整備を実施します。整備に当たっては、上下流や本支川のバランスを考慮しつつ、段階的に進めていきます。

河道掘削

・河川整備計画において、整備目標流量を安全に流下させるための対策として、河道掘削を実施します。

くさど みのみ
【掘削前】(草戸・水呑地区)

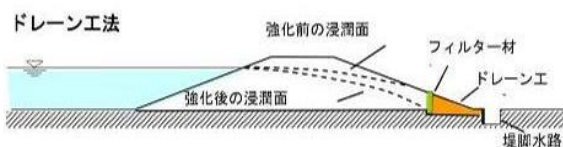
河道掘削を行った例

くさど みのみ
【掘削後】(草戸・水呑地区)

堤防の浸透対策

・降雨や河川水の増水により堤防内の浸透水が増大すると、法すべりや漏水が発生することがありますが、それらに対する安全性照査の結果、対策が必要となった区間について、堤防の浸透対策を実施しています。

堤防の浸透対策を行った例



ドレーン工法

期待される整備効果

河川の流下能力や堤防の安全性を向上させ、洪水時の決壊・氾濫リスクを低下させます。

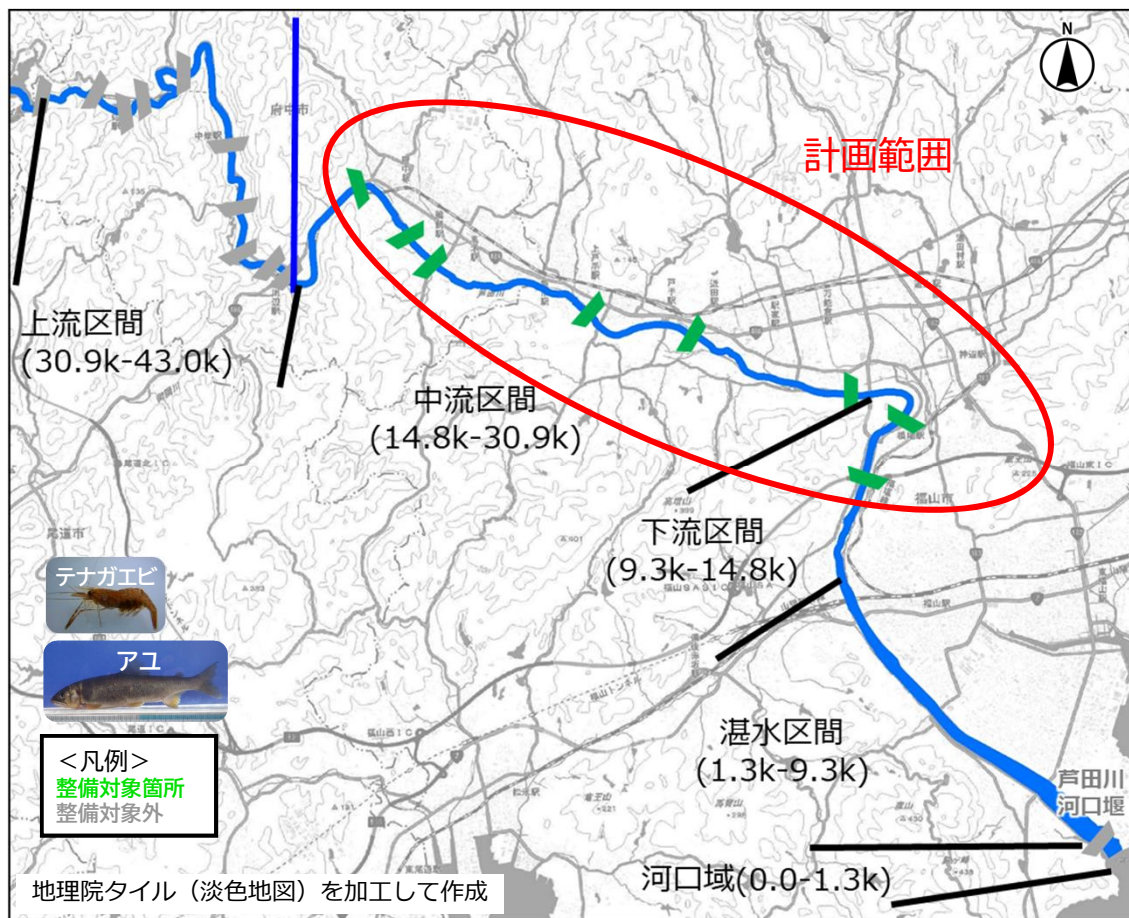
令和7年度 事業概要

自然再生を推進します。

あしだ
芦田川には、堰・床固等の多数の横断工作物が存在していますが、魚類等の遡上・効果を阻害しています。

あしだ
芦田川中流部の横断工作物に新たな魚道の設置したり、既にある魚道の改良を行うことにより、ウナギ、アユなどの魚類、底生動物等が川をのぼりやすくすることで、あしだ
芦田川の生態系を再生します。

令和7年度～令和18年度の計画で、実施を予定しており、令和7年度は関係機関と調整し検討・設計を進めます。



芦田川中上流部(床固) 整備前の状況



芦田川中上流部(床固)整備後のイメージ



期待される整備効果

あしだ
魚道の新たな設置や改良により連続性のある河川環境が再生され、魚類等が自由に芦田川を移動できるようになり、あしだ
芦田川の生態系が再生されます。

維持修繕・応急対策・堰堤維持事業

安全・安心な暮らしが持続可能となるように、^{あしだ}芦田川の状態変化の監視・評価、
評価結果に基づく改善を行い、効率的・効果的な維持管理を実施しています。

洪水対策

- ・洪水を安全に流下させるために樹木の再繁茂抑制対策を実施し、伐採後の河道を維持します。
- ・各種災害対策機械を備え、災害時に対応できる体制の整備をしています。



再繁茂抑制対策の例
(重機による幼木の踏み倒し)



排水ポンプ車稼動状況

施設の維持管理

- ・河川管理施設の機能を十分に発揮させるため、長寿命化を踏まえた維持管理を実施します。
- ・堤防等河川管理施設の点検による健全度の評価を実施しています。
- ・河川パトロールにより、不法投棄や河川管理施設の状態変化を監視しています。



排水機場の長寿命化対策
かわみなみ
(川南排水機場)



堤防点検



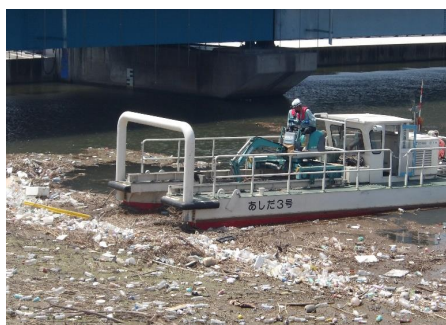
河川パトロール

河川環境の保全

- ・芦田川河口付近の河川環境保全対策として、芦田川河口堰による弾力的放流の実施や貯水池内清掃、植生浄化施設を活用した水質改善や、ユスリカ対策などを継続的に実施しています。
- また、見る見る館等も活用し、河川環境学習や地元住民参加型の水質調査など啓発活動も行っています。



植生浄化施設



芦田川河口堰貯水池内のゴミ清掃



見る見る館での環境学習

道路関係事業

一般国道2号の交通渋滞の緩和や交通安全の向上を図るとともに、地域間の交流・連携強化による地域の活力・個性を発揮させる改築事業として、^{ふくやま}福山道路の工事を推進します。

また、^{ふくやま}福山都市圏においては、関係機関等との連携・協力により、交通円滑化施策を推進します。

道路管理においては、道路構造物の長寿命化のための老朽化対策を行うほか、交差点の安全対策、無電柱化を行うとともに、維持管理計画に基づく計画的・効率的な維持管理を推進します。



一般国道2号福山道路 終点部から福山市内方面を望む

主な事業箇所等

一般国道2号	^{ふくやま} 福山道路(福山市瀬戸町～ ^{せ とちょう あかさかちょう} 赤坂町 3.3km)	12
高規格道路	^{ふくやまほんごう} 福山本郷道路(^{み はら} 三原～ ^{ほんごう} 本郷)(調査中区間)	13
一般国道2号	^{ふくやま} 福山地区・ ^{ふくやまひがし} 福山東地区自転車走行空間整備事業	14
一般国道2号	^{い せ がおか} 伊勢丘入口交差点改良事業	15
一般国道2号	^{だいもんえきみなみ} 大門駅南交差点改良事業	16
一般国道2号	^{ほんごうみなみ} 本郷南地区歩道整備事業(新規着手)	17
一般国道2号	^{ひきの} 引野電線共同溝事業	18
一般国道2号	^{ながたに} 長谷橋修繕事業	19
道路の維持・管理		20
VSPを通じた『 ^{ふくやま} ばらのまち福山』の取り組み支援		21

道路事業箇所

備後地域には広域ネットワークを担う8つの国道と、山陽自動車道、西瀬戸自動車道(通称:瀬戸内しまなみ海道)、中国横断自動車道尾道松江線(通称:中国やまなみ街道)といった高規格道路があります。

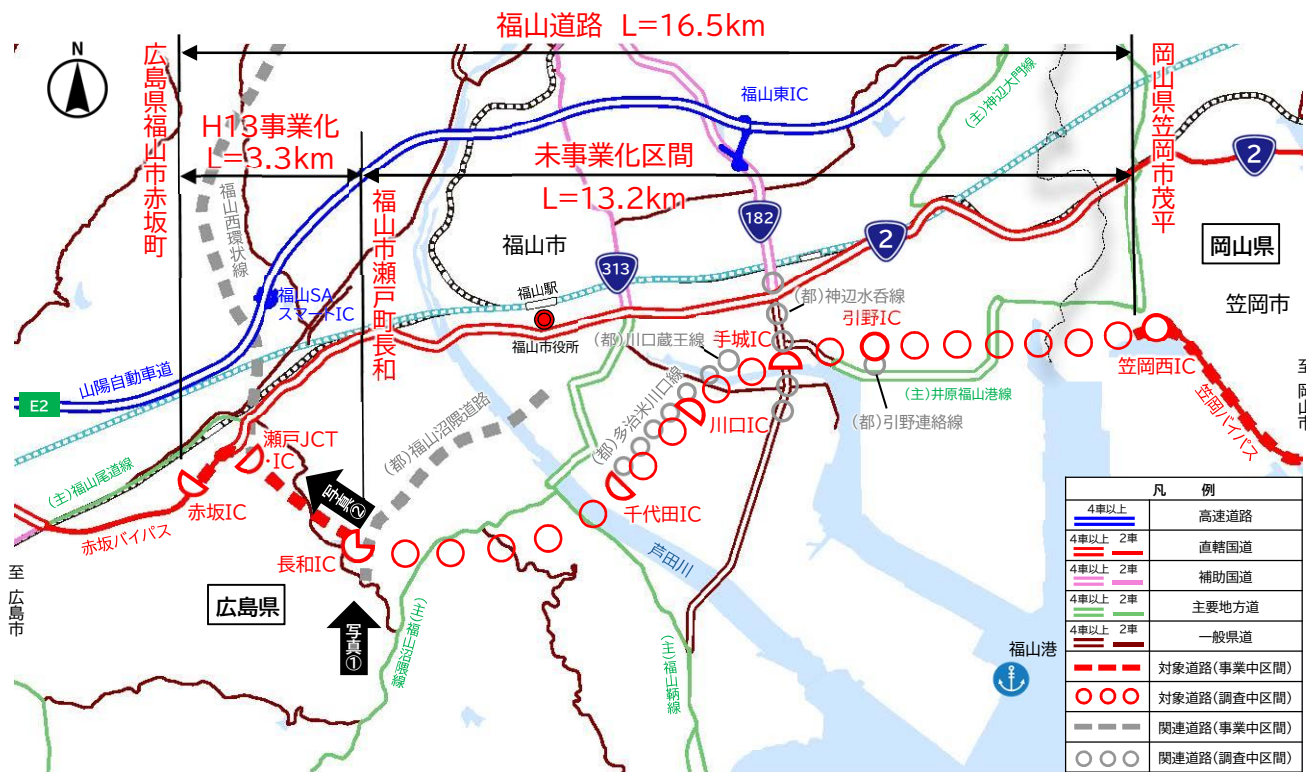
福山河川国道事務所では、一般国道2号の福山市大門町(岡山県境)から三原市本郷町(三原市と竹原市の境)までの59.7kmと、一般国道317号(E76(生口島道路))の尾道市瀬戸田町荻から尾道市因島洲江町までの6.9kmを管理しています。



用地買収、改良工事、橋梁上下部工事等を推進します。

福山道路は、岡山県笠岡市茂平から広島県福山市赤坂町に至る延長16.5kmの道路で、高規格道路倉敷福山道路の一部です。また、福山都市圏の環状道路網の一部にもなっています。

平成13年度から福山市瀬戸町長和～福山市赤坂町(L=3.3km)の区間で事業を進めています。今年度は、用地買収、道路改良工事、橋梁上下部工事等を実施します。



※福山道路、笠岡バイパスのJCT、IC名については、全て仮称です。



期待される整備効果

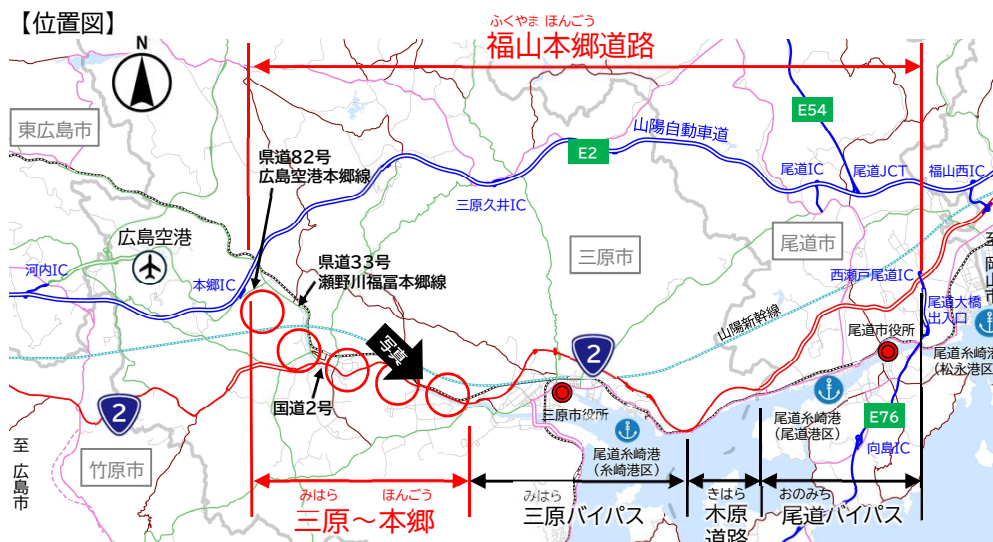
- ①福山市内の渋滞が緩和されます。
- ②山陽自動車道通行止め時の代替機能を担います。
- ③関連路線の整備と合わせて、港湾と高速道路のアクセス強化により物流の効率化を図ります。

令和7年度 事業概要

計画段階評価の手続きを進めています。

福山本郷道路は、山陽自動車道本郷ICと重要港湾尾道系崎港の連携を強化し、時間距離を大幅に短縮するとともに、瀬戸内沿岸諸都市の連携強化を図ることを目的とした、延長約30kmの高規格道路です。三原～本郷間は、福山本郷道路の唯一の未開通区間であり、現在、この区間の計画段階評価の手続きを進めています。

【位置図】



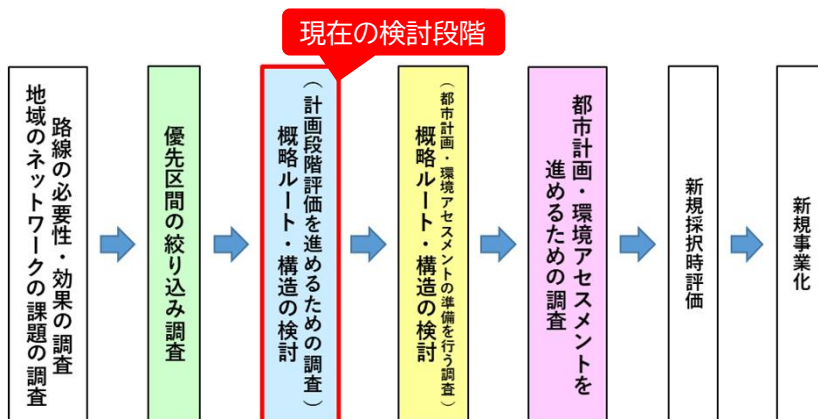
【写真】現道の渋滞状況



国道2号本市橋北詰交差点付近

凡 例	
4車以上 2車	高速道路
4車以上 2車	直轄国道
4車以上 2車 事業中	補助国道
4車以上 2車	主要地方道
2車	一般県道
〇〇〇	対象道路(調査中区間)

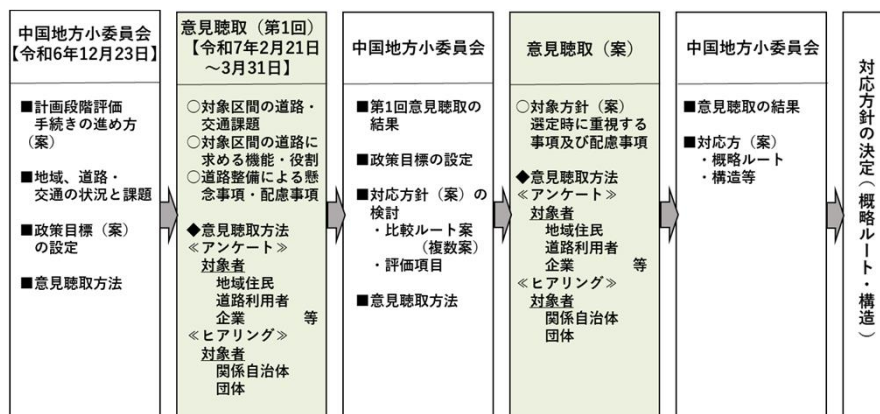
【道路調査の流れ】



計画段階評価手続きの進め方

令和6年度までに完了

令和7年度以降に実施予定



第1回意見聴取の実施状況



令和7年度 事業概要

自転車走行空間整備の調査設計及び工事を推進します。

福山市中心部は、自転車・歩行者交通量が多い地域であり、自転車歩行者道には自転車の通行位置を明示していますが、自転車と歩行者が錯綜し非常に危険な状況となっています。

本事業は、福山市が策定している「福山都市圏自転車走行空間整備計画」にも位置付けられている区間において自転車道の整備を行い、自転車・歩行者の安全性の確保を図るものです。

【位置図】



【写真①】整備前



【写真②】自転車と歩行者が錯綜している状況



【写真①】整備後



【写真②】整備後



期待される整備効果

自転車と歩行者を分離することで、安全性の向上が期待されます。

令和7年度 事業概要

調査設計及び交差点改良工事を推進します。

いせがおか

伊勢丘入口交差点は、右折滞留長が不足し、直進車線へはみ出した車両への追突事故が発生しています。また、交差点西側流入部の左折車線は十分な幅員が確保されてないため、左折車を避けるための車線変更で事故が発生しています。

本事業は、右折滞留長の延伸及び左折車線を設置することで、直進車阻害を低減する対策を行い、交差点における事故防止及び交通渋滞の緩和を図るものです。

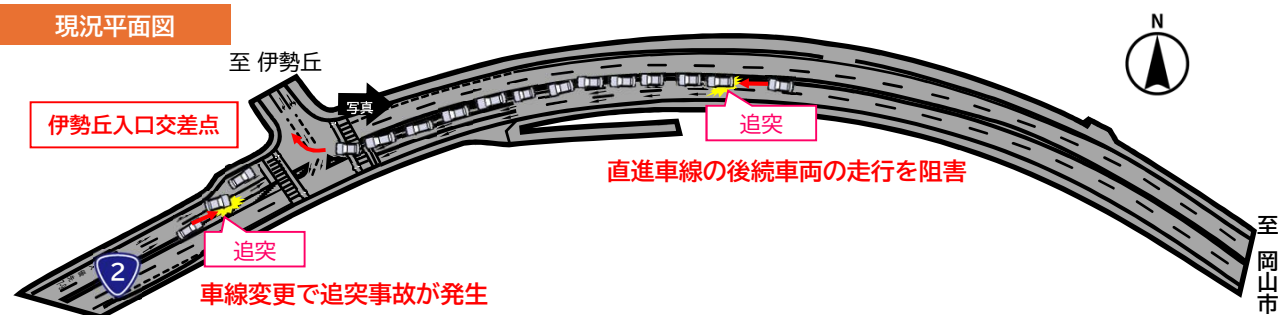
【位置図】



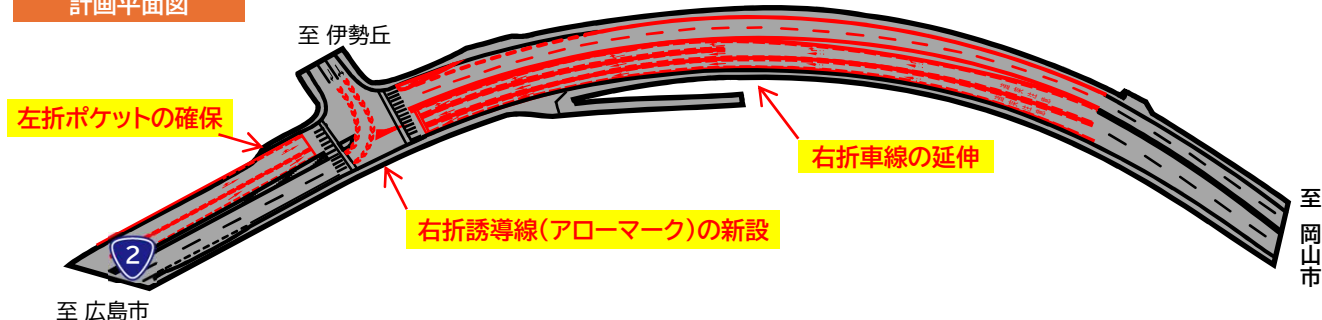
【写真】



現況平面図



計画平面図



期待される整備効果

- ①交差点内の明確化で安全性が向上し、交通事故件数の削減が期待されます。
- ②右折車線の延伸により、交差点付近の交通事故の削減を図ります。

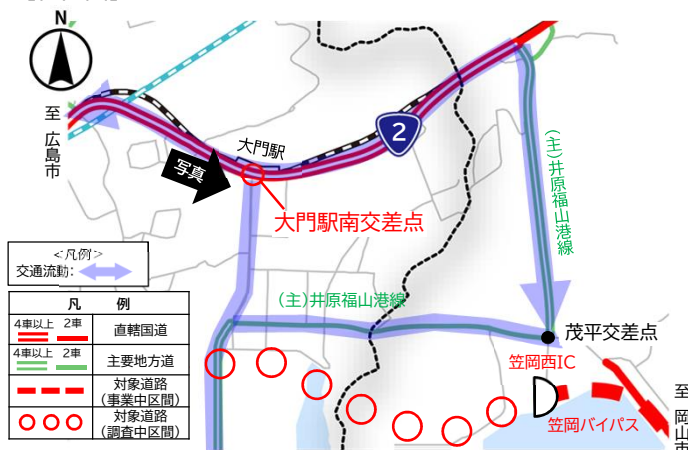
令和7年度 事業概要

調査設計及び交差点改良工事を推進します。

だいまんえきみなみ

大門駅南交差点は、交通量が多く右折滞留長等が不足しており、直進車による滞留車への追突事故が発生しています。また、近隣に位置する笠岡バイパスが開通予定であり、今後、交通量の増加及び交差点内の危険度が高まると想定されます。本事業は、右折車線の追加及び右折滞留長の延長により、交差点における事故防止及び交通渋滞の緩和を図るものです。

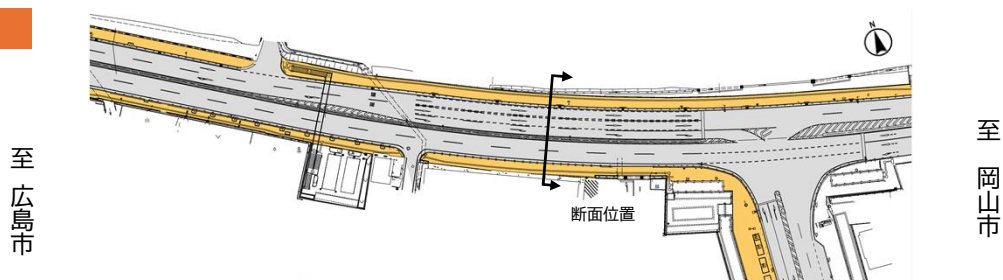
【位置図】



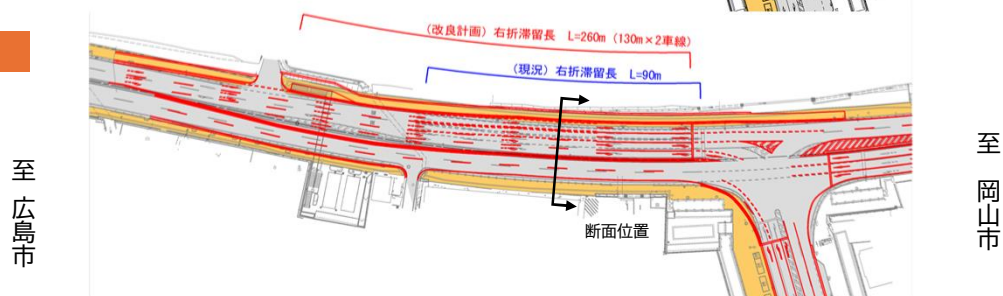
【写真】交差点手前の交通状況



現況平面図



計画平面図



現況断面図

(単位: m)



計画断面図

(単位: m)



期待される整備効果

上り車線の右折車線の追加・右折滞留長の延長により渋滞が解消され、追突事故の減少が期待されます。

令和7年度 事業概要

調査設計を推進します。

一般国道2号三原市本郷南地区、仏通寺入口交差点西側は法定通学路となっていますが、歩道未整備区間があり、現在並行する市道を通学路として利用している状況です。市道は狭路で生活交通や高等学校の通学生も多く利用し交通が錯綜するため、幹線道路である国道2号での通学路整備が必要となっています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)対象区間として歩道の整備を行い、安全・安心な歩行空間を確保し通学路の安全性の向上を図ります。

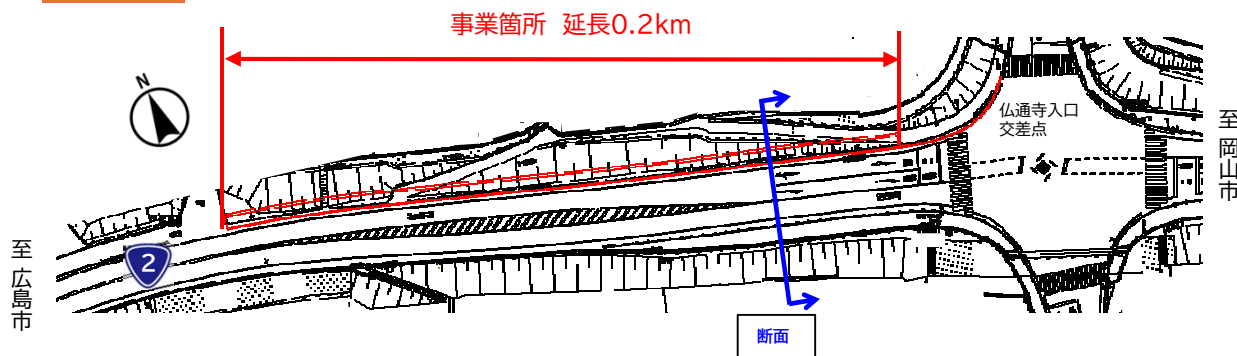


【写真】歩道未整備の現状

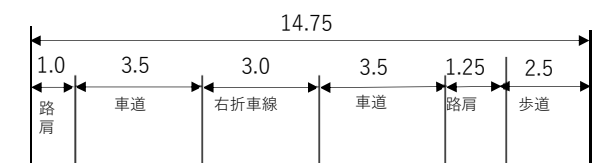


歩道未整備

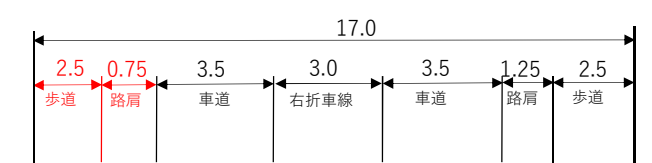
平面図



現況断面図 (単位: m)



計画断面図 (単位: m)



期待される整備効果

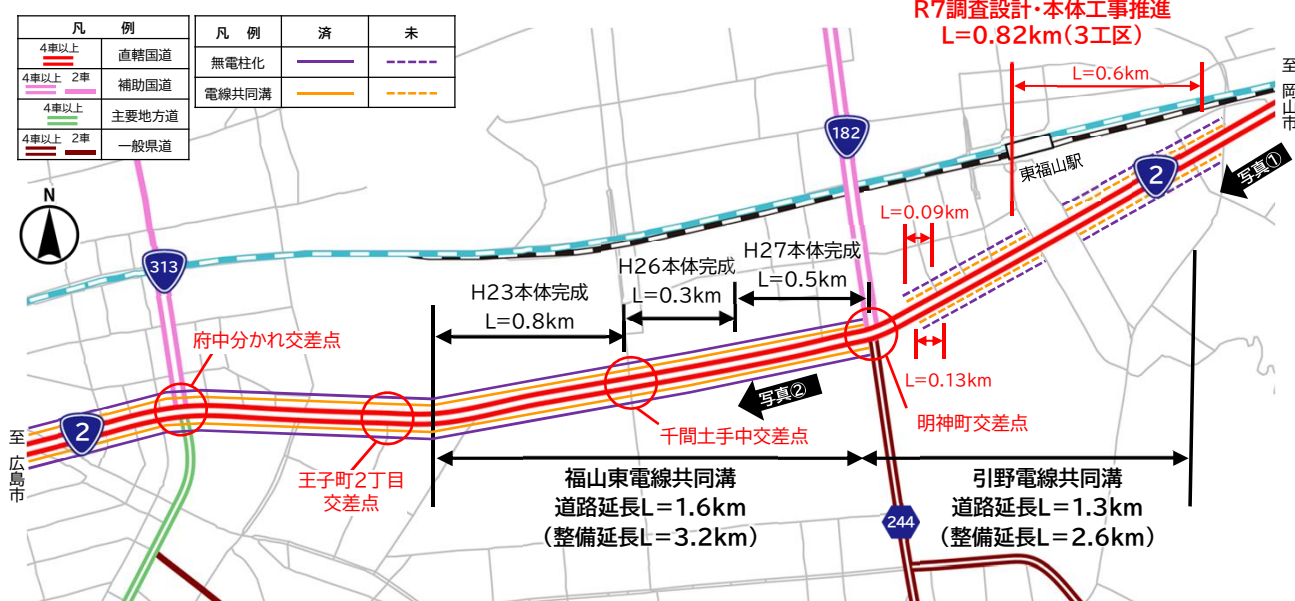
歩道を整備することにより交通錯綜の緩和及び通学路の安全性の向上が期待されます。

調査設計、本体工事を推進します。

ふくやま ひきのちよう 福山市引野町は、大型商業施設等が建ち並び福山市中心市街地に位置し、都市景観の形成及び都市防災上重要な箇所となっています。

電線共同溝整備により、無電柱化が図られ、良好な都市景観が形成されるとともに、安全で快適な通行空間の確保並びに地震時等における緊急輸送道路の機能が確保されます。

【位置図】



【写真①】

整備前：福山市引野町地内(引野町4丁目交差点付近)

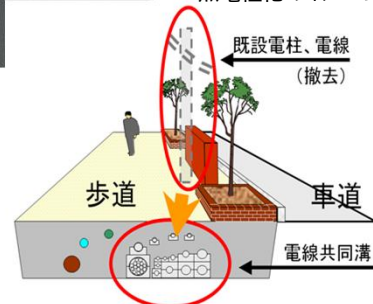


【写真②】

整備後：イメージ(福山市王子町地内)



無電柱化のイメージ



期待される整備効果

- ①無電柱化により歩道の有効幅員を拡げることで、通行空間の安全性・快適性を確保します。
- ②景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。
- ③大規模災害が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止します。

令和7年度 事業概要

橋梁の修繕工事を推進します。

みはら ながたに ながたに
三原市長谷3丁目の長谷橋(旧橋1956年架設・新橋2013年架設)は床版コンクリートの剥離等が発生しており、橋梁構造の安全性の観点から、速やかに修繕工事を行う必要があります。

ながたに
長谷橋においては、床版コンクリートの断面修復等の補修を実施し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

その他、管内で4箇所の橋梁の修繕工事を行います。

【側面全景】一般国道2号 長谷橋



【側面】一般国道2号 河川交差



【損傷状況:床版の剥離・鉄筋露出】



【損傷状況:床版のうき】



期待される整備効果

修繕工事を行うことにより、橋梁の長寿命化を図ります。

道路の維持・管理

道路構造物の長寿命化を図るため、定期点検及び補修・修繕を行うなどの老朽化対策を行うほか維持管理計画に基づく計画的・効率的な維持管理を行います。

日常の道路管理

道路を安全で快適に利用していただけるよう日々の道路パトロールや定期点検を行い、道路の欠陥・破損の早期発見と補修に努めています。また、道路の清掃や街路樹、照明施設などの日常的な管理を行っています。



通常巡回（落下物処理）



側溝清掃



路面清掃

各種点検

道路の施設には、橋梁、トンネル、法面、擁壁、標識、照明などがあります。これらの施設を健全な状態で維持していくために、点検を行っています。



トンネル点検



防災点検



道路情報板点検

補修・修繕・防災工事

日常の手入れでは及ばないほど大きくなった損傷部分の手入れを行う補修工事や、まとまった区間の修理を行う修繕工事、災害を未然に防ぐための防災工事などを行っています。



トンネル補修
(頂版部の剥落防止ネット設置)



舗装修繕
(切削オーバーレイ工)



防災工事
(落石防止柵工)

令和7年度 事業概要

一般国道2号沿線の植樹帯では、ばらの植樹が可能な箇所について、より一層の地域住民への働きかけを進めます。

VSP(ボランティア・サポート・プログラム)とは、道路を慈しみ、住民の方(実施団体)に道路を我が子のように面倒を見ていただくという考え方に基づく、道路の環境美化プログラムです。

住民の方(実施団体)は、プログラムで指定されている道路の一区画を、国土交通省(道路管理者)と協定を締結することで、道路の一区画と養子縁組を結んだこととなり、その区域を我が子のように責任を持って面倒を見ていただくことになります。

現在、全国で2,000以上の団体が活動されています。

VSPでの取組状況

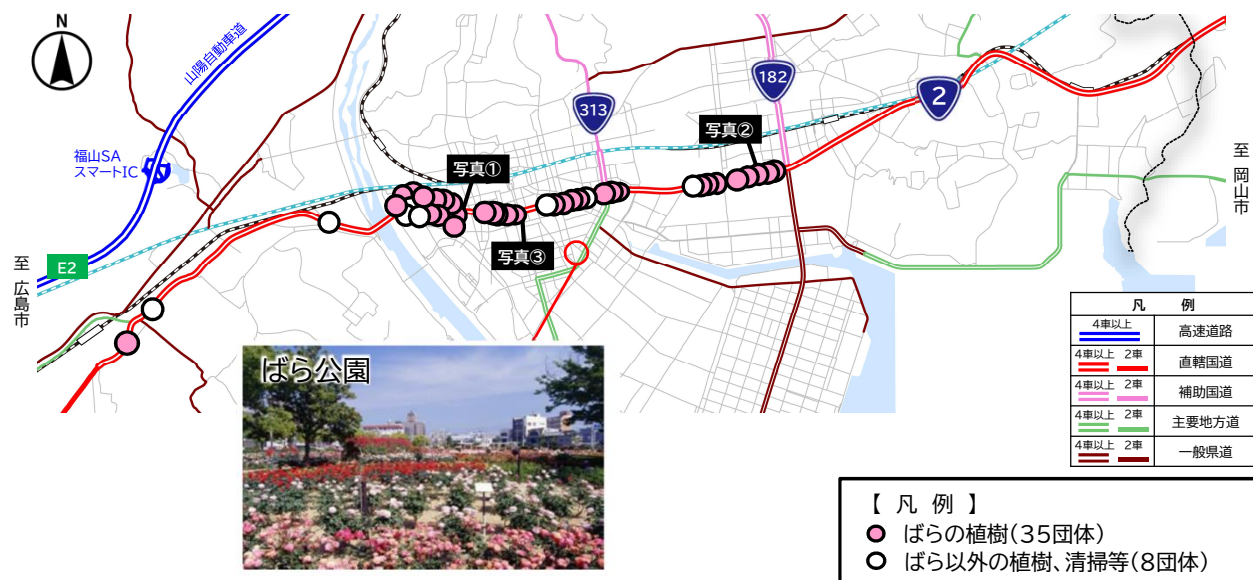
○概要

- ・ 令和7年4月1日時点、事務所全体で、45団体(福山市内43団体+三原市内2団体)が登録しています。福山市内のVSP登録団体(43団体)の内、35団体がばらの植樹で登録しています。

○支援内容等

- ・ 福山市のばら植樹支援事業を前提に、ばらの植樹が可能なVSP空白地帯などについて、地元・店舗等へばらの苗木提供をきっかけとしたVSP登録・活動の働きかけを福山市と共に実施します。

福山市内における「VSP登録」状況等(令和7年4月1日時点)



【取組状況写真】



写真①:南本庄地内(上り)



写真②:明神町地内(上り)



写真③:霞町地内(下り)

連絡先と各部署の業務内容

福山河川国道事務所では、みなさまからの声をお待ちしています。

各部署の業務内容と連絡先(直通ダイヤル)

各部署	主な業務内容	連絡先
総務課(代表)	総合窓口、庁舎の管理に関すること	TEL:084-923-2620 FAX:084-923-2517
経理課	工事・業務・物品・役務等の契約・支払に関すること	TEL:084-923-2621 FAX:084-923-2556
用地課	河川・道路の公共事業用地の取得に関すること	TEL:084-923-2622 FAX:084-923-2556
工務課	道路の工事(道路改築)に関すること 工事・業務の技術審査に関すること 機械施設設備に関すること	TEL:084-923-2627 FAX:084-923-2558
調査設計課	道路の計画・調査・設計に関すること	TEL:084-923-2510 FAX:084-923-2558
流域治水課	河川(芦田川及び高屋川)の計画・調査・設計・流域治水に関すること 見る視る館の見学に関すること 電気通信設備に関すること	TEL:084-923-2628 FAX:084-923-2559
占用調整課 河川管理課	河川(芦田川及び高屋川)の使用に関する許認可に関すること 河川(芦田川及び高屋川)の工事・維持・管理に関すること	TEL:084-923-2511 FAX:084-923-2557
道路管理課	道路占用・承認工事等の許認可に関すること 道路の維持・管理に関すること	TEL:084-923-2553 FAX:084-923-2558

緊急通報、ご意見・ご相談

	内容	連絡先
道路緊急ダイヤル	道路施設の損傷や倒木、路面の陥没や穴ぼこ、排水不良等の緊急通報にかかる受付窓口です。(直轄国道に限らず全ての道路が対象)	#9910
道の相談室	道路に関するご意見・ご要望・ご相談などをお受けします。 お受けした内容について検討した結果をお返事するとともに、今後の道路行政に反映させます。	TEL:082-222-6274 FAX:082-511-6467

 国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

〒720-0031 広島県福山市三吉町4丁目4番13号

TEL : (084)923-2620(代表) FAX: (084)923-2517

E-mail: fukuyama@cgr.mlit.go.jp



事務所HP



事務所X

● 芦田川出張所

〒720-0077 広島県福山市南本庄5丁目3-12

TEL: (084)923-8478 FAX: (084)931-1079

● 芦田川河口堰管理支所

〒721-0957 広島県福山市簗島町字釣々端山367-3

TEL: (084)953-8048 FAX: (084)953-9067

● 三原国道維持出張所

〒723-0054 広島県三原市頼兼2丁目2-1

TEL: (0848)67-1020 FAX: (0848)67-1030